

開校49周年 児童一人ひとりを確実に伸ばす慈林小学校～あいさついっぱい 元気いっぱい やさしさいっぱい 学びいっぱい～



慈林小だより



令和7年度 9月号 令和7年9月1日(月)

「安心・安全」な学校をつくる

校長 石原 昌治

長い夏休みが終わり、8月26日から2学期が始まっています。朝、校門に立っていると、わざわざ近くに来て「校長先生、おはようございます」と笑顔一杯にあいさつをしてくれる子どもたちに出会うことができ、心から嬉しくなります。夏休み中、慈林小の児童は元気になっているかな、と気になる日々を過ごしていましたが、目を輝かせて登校してくる子どもたちにふれて、スイッチが入りました。子どもたちが無事故で2学期の始業式が迎えられたことにほっとするとともに、ご家庭や地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、今年の夏も災害級の暑さが続くなど、例年に増して異常気象に見舞われました。雨が全く降らない猛暑日が続いたと思えば、ここ川口市でも記録的短時間大雨情報が発表されるなど、自然災害については、未だ予測困難となっています。

本校では、予測困難な災害を想定し、児童がいかなる状況下でも自らの命を守り抜き、主体的に行動する態度を育成する教育をとおして「安心・安全な学校づくり」を進めています。休み時間に予告なし避難訓練を実施するなど、その場でどういう危険が起こりえるか、どうすればその危険を回避し身を守ることができるかを、自分で判断できる力を育てています。

一方で、「安心・安全な学校づくり」のためには、当然、子どもたちの安全の確保が保障される環境をつくる必要不可欠となります。そのために、全教職員や外部業者による安全点検を定期的実施していますが、最近、全国的に「盗撮」という「安心・安全」を脅かす事件が起こっています。このような事件を「対岸の火事にしたくない」

「児童や保護者に安心してほしい」という思いから、PTA 総務の皆様到校舎内の教室、トイレ及びプールの点検をお願いしました。8月7日に7名もの方々に来校いただき、チェックいただいた結果、メールでお伝えしたとおりカメラは発見されませんでした。様々な貴重なアドバイスをいただくことができました。ご協力本当にありがとうございました。



PTA総務による安全点検の様子

「全ては子どもたちのために」という共通理解を図りつつ、今後も保護者の方々や地域の方々「協働」しながら、慈林笑楽好を一緒に創っていきたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。